

貸借対照表

平成31年03月31日 現在

株式会社 Fun Japan Communications

(単位：円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】	231,439,088	【流動負債】	275,263,635
現金及び預金	129,195,983	買掛金	20,941,191
売掛金	96,154,972	短期借入金	200,000,000
プロジェクト費用	267,649	未払金	17,806,048
前渡金	324,000	未払費用	24,741,857
未収入金	3,294	前受金	4,050,000
前払費用	5,492,690	預り金	2,904,539
預け金	500	未払消費税等	3,870,000
【固定資産】	380,503,086	未払法人税等	950,000
有形固定資産	4,133,430	【固定負債】	7,672,543
建物	515,651	長期繰延税金負債	372,543
建物附属設備	2,519,253	資産除去債務	7,300,000
器具備品	1,098,526	負債の部合計	282,936,178
無形固定資産	348,875,656	純資産の部	
ソフトウェア	143,129,419	科目	金額
のれん	205,746,237	【株主資本】	329,005,996
投資その他の資産	27,494,000	資本金	100,000,000
差入保証金	27,494,000	資本剰余金	1,092,721,040
		資本準備金	1,092,721,040
		利益剰余金	△ 863,715,044
		その他利益剰余金	△ 863,715,044
		繰越利益剰余金	△ 863,715,044
		(うち当期純損失)	△ 447,394,196
		純資産の部合計	329,005,996
資産の部合計	611,942,174	負債・純資産の部合計	611,942,174

個別注記表

自 平成30年04月01日

至 平成31年03月31日

株式会社 Fun Japan Communications

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準及び評価方法

プロジェクト費用…個別法による原価法

(2) 固定資産の減価償却の方法

①有形固定資産…定率法を採用しております。ただし、建物及び附属設備については定額法を採用しております。

②無形固定資産…定額法を採用しております。

③一括償却資産…取得価額10万以上20万円未満の有形固定資産及び無形固定資産は3年間の均等償却としております。

なお、主な耐用年数は次の通りです。

建物、附属設備…3年～6年

工具器具備品…3年～6年

自社利用のソフトウェア…5年

のれん…8年

(3) 引当金の計上基準

賞与引当金

賞与引当金は、従業員への賞与の支払いに備えるため、従業員に対する賞与の支給見込み額のうち当事業年度に帰属する額を計上しております。

(4) 収益及び費用の計上基準

収益は完成基準もしくは検収基準を適用しております。費用は、その支出に基づいた金額を収益に対応させて、発生した期間に応じて計上しております。

(5) その他計算書類の作成のための基本となる重要事項

①消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜処理によっております。

2. 表示方法の変更に関する注記

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当事業年度の期首から適用しており、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

3. 貸借対照表に関する注記

(1) 固定資産の減価償却累計額

有形固定資産の減価償却累計額

13,813,782円

(2) 関係会社に対する債権及び債務

短期金銭債権

65,623,488円

短期金銭債務 660,696円

4. 損益計算書に関する注記

関係会社との取引高

営業取引による取引高

売上高

160,325,835円

仕入高

0円

営業取引以外の取引による取引高

69,313,947円

5. 株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 当事業年度末における発行済み株式の数

15,000株

発行株式はいずれもすべて普通株式であります。

6. 一株当たり情報に関する注記

一株当たり純資産額

21,933円73銭

一株当たり当期純損失金額

29,826円27銭

7. 重要な後発事象に関する注記

該当事項はございません。

以上